

1. 訓練概要

- (1)実施時期 令和4年10月15日(土)・16日(日)
- (2)訓練場所 長浜市・米原市
- (3)参加機関 約110機関
- (4)参加人数 約3,500人

(主会場:旧長浜北高等学校跡地)

2. 実施結果

・県内10会場で、34の訓練を実施。住民約500名が訓練に参加。(別添「パンフレット」参照)

実施内容

橋梁倒壊等多重事故救出救助訓練



大規模土砂崩落救出救助訓練



トンネル内交通事故集団救急救助訓練



後方支援訓練



成果

- ・関係機関相互の連携強化が図れた。
- ・本県の受援力を高めることができたほか、緊急消防援助隊の技術の向上が図れた。
- ・18の展示ブースにおける見学や体験等を通じて、自助・共助の意識を高めることができた。

課題

- ・近年、災害が頻発化・激甚化していることから、様々な災害を想定した訓練を継続的に実施し、関係機関の連携強化をより一層推進していく必要がある。
- ・訓練で得られた知識や技能を継承していくなど初動対応能力を、より一層向上させる必要がある。
- ・県民の防災意識を高めるため、住民参加型の訓練や防災教育などの啓発に力を入れる必要がある。